



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

関西広域産業ビジョン (2023年改訂版) 【用語集】

2024年3月

関西広域連合
広域産業振興局

本用語集は、「関西広域産業ビジョン(2023年改訂版)」で使用される用語の意味や意図を解説したものである。

初出 ページ	用語	解説	ビジョン記載項目
5	パリ協定	温室効果ガス削減に関する国際的な取り決めを話し合う「国連気候変動枠組条約締約国会議(通称COP)」で合意された、2020年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組みを決定したもの。(※1)	03 関西経済を見通す上で押さえておく主なトレンド ■気候変動、地球環境問題
5	プラスチック条約	海洋プラスチック汚染を始めとするプラスチック汚染対策に関する法的拘束力のある国際文書。(※2)	
5	2040年までに追加的なプラスチック汚染をゼロにする野心	2019年大阪サミットで日本が提唱し、各国首脳に共有された、2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減することを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」より、期限を10年前倒しにし、また海洋に限定せず、プラスチック汚染ゼロを目指すことにしたもの。(※3)	
5	昆明・モントリオール生物多様性枠組	生物多様性の新たな世界目標であり、自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させることをミッションとして掲げているもの。(※4)	
5	2050年カーボンニュートラル宣言	日本政府が、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする(二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること)、カーボンニュートラルを宣言したもの。(※5)	
5	2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略	カーボンニュートラルの実現に向けて掲げた高い目標を達成するため、政府が産業政策・エネルギー政策の両面から、成長が期待される14の重要分野について策定した計画。(※6)	
5	プラスチック汚染対策の条約策定交渉に関する高野心連合(HAC)	2040年までにプラスチック汚染を終わらせるとの目標を掲げ、持続可能な水準のプラスチックの生産・消費、プラスチックの資源循環の促進、プラスチックごみの適正管理等を追求する国家のグループ。(※7)	
5	生物多様性国家戦略2023-2030	生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画であり、昆明・モントリオール生物多様性枠組の採択(令和4年12月)を受け、令和5年3月31日に第6次戦略として閣議決定されたもの。(※8)	

初出 ページ	用語	解説	ビジョン記載項目
5	グローバルサウス (Global South)	アフリカ・アジア・中南米等の広い地域における「発展途上国や新興国」の総称。近年は、経済が急速に成長し、国際社会における影響力を増している。	03 関西経済を見通す 上で押さえておく主なトレンド ■社会構造(人口動態)
5	ESG投資	持続可能な世界実現と企業の長期的成長に重要な“環境(Environment)”“社会(Social)”“ガバナンス(Governance)”の観点を判断基準に利用する投資法。	03 関西経済を見通す 上で押さえておく主なトレンド ◆ESG投資、SDGs
5	責任投資原則 (PRI)	機関投資家が実践する原則として「投資分析と意思決定のプロセスにESG課題を組み込む」など6つを提示し、その原則への署名と原則実践のための協力を促す投資家ネットワーク。(※9)	
5	PRI(Principles for Responsible Investment)	国連が提唱する「責任投資原則」。機関投資家が実践する原則として、“投資分析と意思決定のプロセスにESG課題を組み込む”“投資対象の企業に対してESG課題についての適切な開示を求める”など6項目から成る。	
5	デジタル田園都市国家構想	「デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されずすべての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現する」という構想。(※10)	03 関西経済を見通す 上で押さえておく主なトレンド ■技術革新、DX(デジタル活用)、生産性
5	ネイチャーポジティブ (自然再興)	「生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せること」。従来の自然環境保全だけでは不足で、財とサービス、食料についても取組が必要とされる。世界経済フォーラムは2020年の報告書において、世界のGDPの半分以上にあたる約44兆ドルが自然の損失によって潜在的に脅かされていると指摘している。	03 関西経済を見通す 上で押さえておく主なトレンド ◆基本姿勢(めざす方向性)
5	サーキュラーエコノミー(循環経済)	従来の3Rの取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動。資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等を目指す。	
5	デカップリング	「経済分断」。政治や経済において、国や地域間の投資や通商を規制で阻害する等により切り離し、連動させない動き。	
5	VUCA(ブーカ)	“変動性(Volatility)”“不確実性(Uncertainty)”“複雑性(Complexity)”“曖昧性(Ambiguity)”の頭文字。先が見通せず、将来の予測が困難な不確実な状況。	

初出 ページ	用語	解説	ビジョン記載項目
7	ビジネスエコシステム	ビジネスの「生態系」。複数の企業や団体の連携のもと、各々の強みや技術を活用した、分業と協業による共存共栄をめざす仕組み。	05 将来像の実現・目標達成に向けたアプローチ
7	産業OS	人材、ノウハウ、環境、経営方針等、企業活動を構成するソフト面の基本要素・基盤。	
7	コアコンピタンス	コア(核)とコンピタンス(能力)からなるビジネス用語。独自の技術や事業プロセス等、「競合他社には真似できない自社ならではのの中核能力」や「企業の中核能力」。	
7	オープンイノベーション	組織内部のイノベーションを促進するため、研究開発やビジネスモデル、組織体制等において、知識や技術といった外部資源の流入出を活用すること。	
7	レジリエンス	「復元力」「回復力」「弾力」を意味する言葉で、困難や脅威に直面する状況でもうまく適応できる能力。	
7	ケイパビリティ	企業全体の組織力や組織がもつ独自の強み。研究開発力、品質保持力、マーケティング力、効率的な生産能力等がある。	
8	MICE	“会議(meeting)”“研修・報奨旅行(incentive travel)”“国際会議(convention)”“イベント、展示会(event/exhibition)”の頭文字。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称。	06 関西チャレンジ①「強みで貢献」
8	グリーンイノベーション	経済と環境の両立と持続的な好循環の実現を目指すための、エネルギー・環境分野の革新	
8	カーボンニュートラル	温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること。2015年のパリ協定にて、世界共通の長期目標として設定され、日本政府は2050年までの達成を宣言。	
8	ディープテック	高度な研究開発力が生み出す革新的技術。世界の課題解決を目指し、社会にインパクトを与えられるような潜在力をもつ。	

初出 ページ	用語	解説	ビジョン記載項目
9	MaaS(マース)	「Mobility as a Service」の略で、自動運転やAI、オープンデータ等を掛け合わせ、従来型の交通・移動手段に加え観光や医療等、交通以外のサービスも連携させたサービス、移動の利便性向上や都市部での交通渋滞や環境問題、地方の交通弱者対策等地域の課題解決にも資する重要な手段となる。	06 関西チャレンジ①「強みで貢献」
10	第二創業	経営者交代の際に、企業が既存事業を一新し、新事業・新領域に進出することやその事業。	06 関西チャレンジ②「強みを活用」
10	6次産業化	一次産業(農林漁業)・二次産業(製造業)・三次産業(小売業等)の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組。所得の向上や雇用創出、地域の活性化につながる。 例) 農業従事者が製造や加工、観光業等に進出	
11	ロイヤリティ(顧客ロイヤリティ)	「顧客推奨度」。企業やブランド、商品に対して消費者が感じる愛着や信頼、信頼感のこと。	
12	GX(グリーントランスフォーメーション)	化石エネルギー(石炭・石油)を中心とした現在の産業構造・社会構造を、CO2を排出しないクリーンエネルギー中心へ転換すること。	06 関西チャレンジ③「強みを発揮」

【出典・参考（令和6年3月29日時点）】

- (※1) <https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/tokushu/ondankashoene/pariskyotei.html>（経済産業省資源エネルギー庁）
- (※2) <https://www.env.go.jp/water/inc.html>（環境省）
- (※3) https://www.env.go.jp/earth/g7/2023_sapporo_emm/index.html（環境省）
- (※4) <https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/treaty/gbf/kmgbf.html>（環境省）
- (※5) https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/（環境省）
- (※6) https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/ggs/index.html（経済産業省）
- (※7) https://www.env.go.jp/press/press_01684.html（環境省）
- (※8) <https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/initiatives/index.html>（環境省）
- (※9) <https://project.nikkeibp.co.jp/ESG/atcl/column/00020/062100021/>（日経ESG）
- (※10) <https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/index.html>（内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局）